

授業科目 (ナンバリング)	法学 (AD117)			担当教員	※板垣 太郎		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>「法」は我々の生活におけるあらゆることに関係している。たとえば、買い物をする場合には民法が、選挙で投票する場合には憲法等が、路上で何者かに暴行を受けた場合、その加害者の処罰については刑法が、それぞれルールを定めている。それゆえ、どのような法が存在し、またその内容がいかなるものであるかを学ぶことは、我々が社会生活を送るうえできわめて重要である。</p> <p>そこで、本講義では、法学上の基本的な考え方や、憲法や民法などの重要な法律の基礎的な知識を修得することにより、我々の生活において生じる具体的な法律問題に対する解決能力を身につけることを目標として講義を行う。</p>							①②③④⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	法学上の基本的知識とその考え方を修得することにより、具体的な問題について法的に考え、解決できる。					<ul style="list-style-type: none"> 課題等平常の学習状況 定期試験 	10% 20%
情報収集、分析力	法学の学習方法を理解することにより、さまざまな法分野についても、受講者が自分自身で適切に学習できる。					<ul style="list-style-type: none"> 課題等平常の学習状況 定期試験 	10% 40%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	私たちの日常生活と法のかかわりについて認識できる。					<ul style="list-style-type: none"> 課題等平常の学習状況 定期試験 	10% 40%
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験のほか、学期途中で課される小テストやレポートの評価、日常的な課題の取り組み状況など平常の学習状況を総合的に勘案して評価を行う。定期試験はレポートとし、法学についての基礎的な知識や論点を理解できたかを評価する。フィードバックは、小テストの結果やレポートの内容等を集約し、コメントを加えて公表する。</p>							
授業の概要							
<p>授業は、指定するテキストと配布するレジュメを併用して行う。</p> <p>法学を学ぶ際には、具体的なイメージを持つことが大変重要である。そのため、この授業では、そもそも法律学を初めて学ぶという受講者にも理解できるよう、必要に応じて基礎的な法律用語・概念等の解説もしつつ、日常的な、身近なことがらを題材に学習することで、受講者が具体的なイメージを持つことを容易にし、法学の基礎的な知識を身につけることを目指したい。さらに、その考察のための基本的な手法を学ぶことで、身につけた知識を、具体的な問題を考える際に実際に使いこなせるようにしたい。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：大林啓吾・手塚崇聡編『ケースで学ぶ法学ナビ』（みらい、2018年）</p> <p>参考書：講義中に指示する。</p> <p>指定図書：教科書と同じ。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>予習として、事前に指定したテキストの該当箇所を目を通しておくこと。ただし、予習では完全に内容を理解する必要はない。復習は、講義で扱ったテキストの該当部分の内容を理解し、課題等に正答できるようにしておくこと。</p> <p>シラバスの説明を読むと、法学はいかにも難しく、その内容が自分に深く関係しているとは考えにくいかもしれない。だが、法は私たちの生活のあらゆることに関係している。その意味で、法について、基礎的な知識と、それに関する具体的なイメージを持つことは非常に重要である。この授業では、常に自分と法の関係について考え、そのイメージを常に思い浮かべながら授業に臨んでほしい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	ガイダンス 法学を学ぶ意義	講義の概要、講義の進め方について説明する。 受講者が自らをとりまく「法」を考え、法学を学ぶ意義について理解する。	予習：シラバスを読む。 復習：自らの生活に関わる「法」を考える。
2	法とは何か	法の役割、「公法」と「私法」の違いについて理解する。	予習：教科書1章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
3	法の使い方を知る	法解釈、法的問題の解決方法について理解する。	予習：教科書2章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
4	憲法入門	憲法における統治、人権について理解する。	予習：教科書3章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
5	民法入門①	民法における債権、物権について理解する。	予習：教科書4章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
6	民法入門②	民法における婚姻、親子関係、相続について理解する。	予習：教科書5章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
7	刑事法入門	犯罪と刑罰、手続の保障について理解する。	予習：教科書6章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
8	労働法入門	労働法とは何か、労働契約について理解する	予習：教科書7章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
9	社会保障法入門	社会保障とは何か、年金制度、雇用保険等について理解する。	予習：教科書8章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
10	消費者法入門	消費者法とは何か、クーリングオフについて理解する。	予習：教科書9章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
11	情報法入門	名誉毀損・プライバシー侵害、個人情報の保護について理解する。	予習：教科書10章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
12	ライフステージと法	年齢にかかわる法問題、成年後見制度について理解する。	予習：教科書11章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
13	生命と法	生命を守る法・奪う法、生命と自己決定について理解する。	予習：教科書12章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
14	環境と法	環境法とは何か、国際社会の潮流を理解する。	予習：教科書13章を読む。 復習：学んだこと、考えたことをまとめる。
15	法学まとめ	法についてさらに深く学ぶため、法哲学における悪法問題や、国際社会と法の関係について理解する。 これまで学習したことの振り返りと質疑応答。	予習：教科書14章を読む。 復習：全体の振り返りをする。
16	定期試験	レポート	定期試験の準備